

2020年10月16日

関係各位

筑波大学附属高等学校長 藤生 英行

第70回 高等学校教育研究大会のご案内

秋麗の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、下記の通り第70回高等学校教育研究大会を開催いたします。今年度は、学校業務改善アドバイザーの妹尾昌俊氏にご講演をお願いしております。また、公開授業では本校の授業実践をご覧頂き、分科会では皆様からのご意見を多数頂戴して、議論を深めたいと考えております。

ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 主催：筑波大学附属高等学校
2. 期日：2020年12月5日(土)
3. 会場：Zoomによるオンライン開催
4. 参加申込期間：2020年10月31日(土)～11月28日(土)
5. 申込方法：本校ホームページよりお申し込みください。
<http://www.high-s.tsukuba.ac.jp/>
[筑波大学附属高等学校] → [教育研究/研修] → [研究大会]
6. 参加費：無料
7. 注意事項
 - ・例年とは異なるZoomによるオンライン開催となります。生徒の個人情報保護の観点から、お申し込みの際、参加者皆様の身分証明、または、所属校の公印の入った参加申込書を添付していただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
 - ・参加者皆様による当日の録画・録音・写真撮影はご遠慮ください。
 - ・本研究大会は免許状更新講習としても実施しておりますので、録画をさせていただきます。(※免許状更新講習の受付は既に終了しております。)
 - ・参加者皆様には、3日前までに、資料に関する情報をいただいたメールアドレスへお送りします。
 - ・研究大会に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。
筑波大学附属高等学校 研究教職部
Mail:kenkyu@sgh-tsukuba.org
Tel:03-3941-7176

8. 時程

| 時間帯 | 内容 | 国語 | 地歴・公民 | 数学 | 理科 | 保健体育 | 外国語 | 芸術 |
|----------------|---------------------|--|-------------|------------|--------------------------|-----------|--|------------|
| 9:00 9:20 | 受付 | メールにお送りした全体会の URL よりご参加ください。 | | | | | | |
| 9:20 | | 副校長より | | | | | | |
| 9:25 10:40 | 休校期間中の本校の取り組み | 1. 本校の取り組みの説明 (25分) 2. 生徒の実態調査から「朝体操」へ (25分) 3. オンライン授業の分析とこれからの課題 (25分) | | | | | | |
| | 休憩 | 休憩 | | | | | | |
| 10:50 12:00 | 講演 | 学校はどこへ向かうのか ～コロナ禍での学校の行動力を振り返る～ 妹尾 昌俊氏 | | | | | | |
| | 休憩 | メールにお送りした各教科の URL より 12:55 までにご参加ください。 | | | | | | |
| 13:00 15:15 | 実践報告 または 公開授業 | 国語総合 現代文 1年生 | 日本史B 2年生 | 数学Ⅱ 2年生 | 物理 3年生 化学基礎 2年生 | 体育 全学年 | コミュニケーション英語 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 英語表現Ⅰ オーラルプレゼンテーション (学校設定科目) | 美術Ⅱ 2年生 |

9. 講演

演題：学校はどこへ向かうのか ～コロナ禍での学校の行動力を振り返る～

講師：妹尾 昌俊氏

学校業務改善アドバイザー（文科省、埼玉県、横浜市等より委嘱）、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁、文化庁の部活動ガイドライン作成検討会議委員、岐阜市公教育検討会議委員等を歴任。合同会社ライフ&ワーク代表、NPO 法人まちと学校のみらい理事。5人の子育て中。

著書：『変わる学校、変わらない学校』、『教師崩壊』『こうすれば、学校は変わる！「忙しいのは当たり前」への挑戦』『学校をおもしろくする思考法』『「先生が忙しすぎる」をあきらめない』等

10. キャリア教育研究報告会

報告者：山岸由紀氏（お茶の水女子大学特任准教授）

例年、お茶の水女子大学附属高校と連携して、キャリア教育研究報告会を行っています。参加者のみなさまには、12月5日当日から翌日まで、オンデマンド配信により紹介いたします。どうぞご覧ください。

11. 実践報告・公開授業

これまでの授業録画を用いた実践報告をいたします。

日本史Bと化学基礎につきましては、教室でのライブ授業をZoomでご覧いただく予定です。

| 教科 | 科目 | 学年 | 授業担当者 | 授業テーマ |
|------|--|-------------|--------------------------------------|--|
| 国語 | 国語総合 現代文 | 1 | 大内康宏 | 動画で学ぶパラグラフ・ライティング |
| 地歴公民 | 日本史B 授業 13:10～13:55 (45分) | 2 | 大庭大輝 | 江戸時代の経済 ～休校期間の学びを活かし、 歴史総合を見据えて～ |
| 数学 | 数学II ※その他の実践報告もあります | 2 | 大堀健吾 他 | 対数の導入 |
| 理科 | 物理 | 3 | 小澤啓 | 音声配信によるオンライン授業 の実践報告 |
| | 化学基礎 授業 14:05～14:50 (45分) | 2 | 柳澤秀樹 | 電気分解（生徒主導型授業PIEを 生徒目線から） |
| 保健体育 | 体育 | 全 学 年 | 中塚義実 他 | 分散登校における体育実技 (体づくり運動を中心に) |
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 英語表現Ⅰ オーラルプレゼンテーション (学校設定科目) | 全 学 年 | 塩飽りさ 曾根典夫 高木哲也 物井真一 矢田理世 | オンライン授業を経て我々が学 んだこと |
| 芸術 | 美術Ⅱ | 2 | 小松俊介 | オンライン授業を経て、通常の 対面授業を考える |

12. 教科分科会のテーマと内容

国語 オンライン・ICTによって広がる学びの可能性

今年度はコロナ禍の中でスタートし、本校においてもオンライン授業を実施いたしました。本分科会では、その授業実践の紹介、検証をもとに対面授業の意義を見直すとともに、今後の国語教育において、オンラインやICTをどのように活用していけるか、その可能性について意見交換をします。参加者の皆様にも、今後のオンライン・ICTの活用に向けたアイデアなどをぜひご紹介いただき、ともに検討したいと考えています。

地歴・公民 休校期間中の取組みを地歴公民科教育にどう活かすか

本校地歴公民科では、休校期間中に Zoom による授業を行いました。そうした制限された環境での授業実践の中で、授業時における教員と生徒の、また生徒間のコミュニケーションについて考えさせられることが多くありました。参加の方々や休校中の取組みについて情報交換するとともに、新学習指導要領を2年後に控える中で、改めて、主体的・対話的である授業について、どうあるべきなのか、議論したいと考えています。

数 学 対面授業と比較して考えるオンライン授業の課題と可能性

オンライン授業を、テキスト、動画配信、双方向授業と3つの形態で行い、それぞれの形態での長所や短所が少しずつ見えてきたとともに、対面授業の良さに改めて気付く機会にもなりました。今回は、対面授業の動画公開とオンライン授業の実践報告を行い、対面授業と比較して、オンライン授業における課題や可能性について、参加者の皆様からのご意見をいただいたり、情報交換をさせていただきたいと思います。

理 科 生徒の思考や活動を引き出す授業実践と課題

物理については、休校中の3年「物理」のオンライン授業に、あえて音声配信を選んだことを報告します。テレビと比べたときのラジオの魅力と同様に、音声配信という適度に不親切な手段の方が、生徒の思考を引き出せるのではないかと考えました。

化学の授業では以前より行なっている生徒主導型授業PIE(Peer Instructing Education)をZoomの特徴を利用して、教師役生徒の目線からの授業見学をしていただきたいと思います。その後、授業について意見交換を行ないたいと考えています。

保健体育 コロナ禍でみえる保健体育科のすがたー“いのち”にかかわる教科として

先が見えない状況の中、4月当初に「保体科からのメッセージ」を配信しました。生徒だけでなく保体科の行動指針でもあるメッセージは、休校期間中の「朝体操」や分散登校期における体育実技の重視からわかるように、本校において一定の共通理解を得たと感じています。

男女共習 40分授業など変則的な授業が続くなか、体育が運動の機会としてだけでなく、仲間づくりにも貢献できたと考えます。その一方で、スポーツの学習は不十分なままです。

コロナ禍で感じられた「保健体育科のすがた」を、参加者とともに共有したいと考えています。

外国語 オンライン授業を経て我々が学んだこと

5月から7月までGoogle ClassroomやZoomを使ってオンライン授業をしました。今回は、各科目のオンライン授業の実践例を紹介します。この経験を経て我々が学んだことを共有した上で、意見交換を行いたいと考えています。*科目名：コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ、オーラルプレゼンテーション（学校設定科目）

芸 術 (美術) これからの美術の授業を考える

オンライン授業により、アナログな体験価値を画面を超えて共有することの難しさに気づき、教室で対面で行っていた「当たり前」の有り難さを確認することができました。一方で、普段活用してこなかったG-suiteなどは、今後も活用できるツールです。ここまでの実践や工夫を参加者の皆さんと共有し、活発な情報交換を行う場としたいと思います。

以上